



Smiles
for the
Public



TOA株式会社

会社説明会

2019年9月7日

index

第1章 企業紹介

第2章 二つのキーワードで見るTOA

第3章 TOAが目指す姿

第1章 企業紹介





* 2019年3月期 期末 売上実績

音響 81%



- ・非常用放送設備
- ・防災用スピーカー



- ・ワイヤレスマイク



- ・会議システム



- ・防犯カメラ
- ・録画機器、等

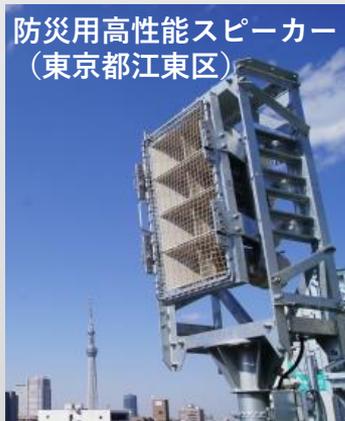
映像 14%

- ・車両内放送設備
- ・カメラ設備
- ・表示機器、等

鉄道車両 5%

TOA株式会社とは？ 【納入事例】

世界中の著名物件に採用実績



TOA株式会社とは？ 【納入事例】

東京駅丸の内周辺でTOA製品が導入されているビル



TOA株式会社とは？ 【納入事例】

東京駅丸の内周辺でTOA製品が導入されているビル

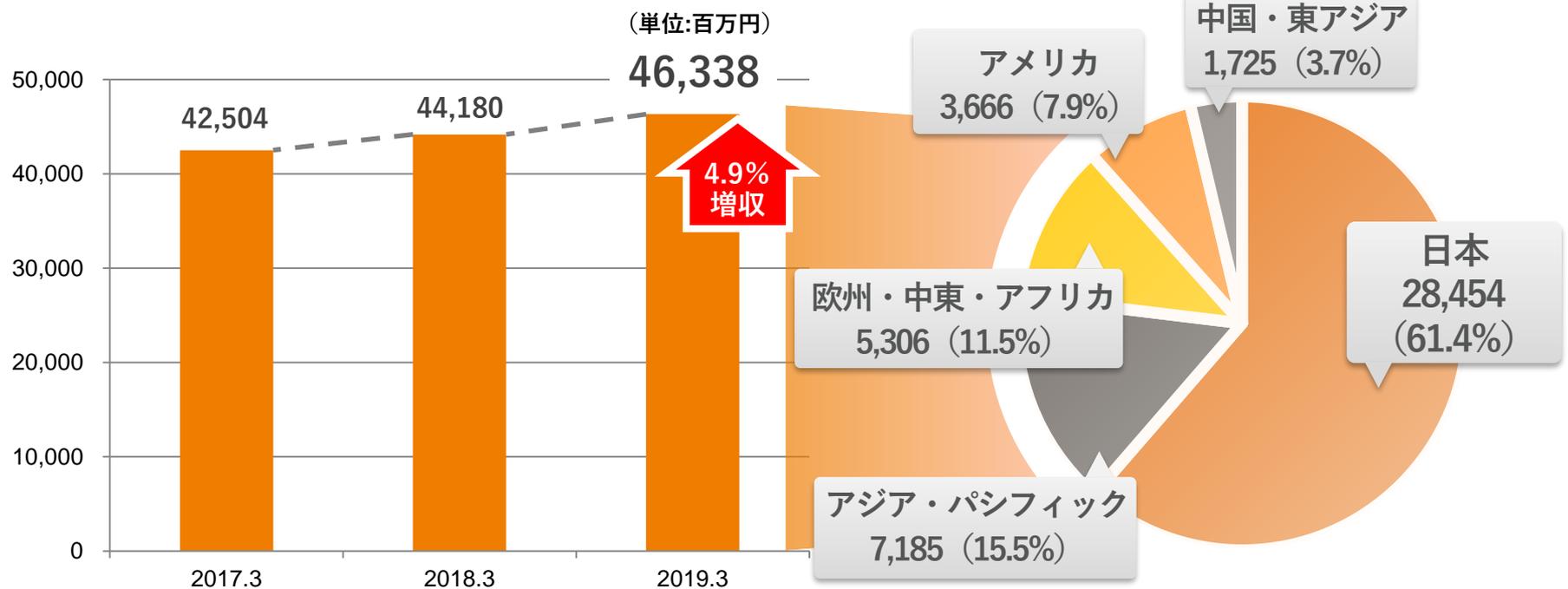


TOA株式会社とは？ 【競合環境】

大手電気メーカーが揃うなか、TOAは業務用音響・映像の専門性を追求



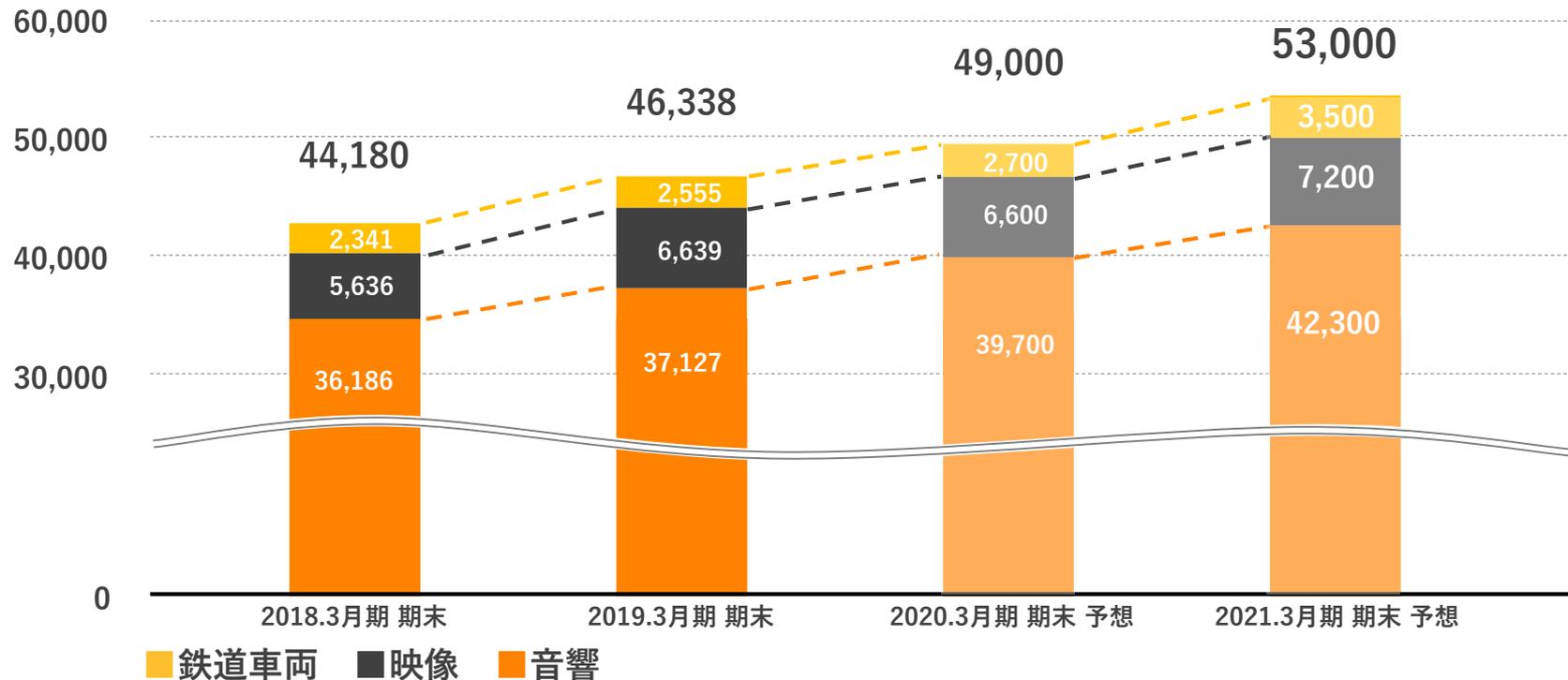
売上高の推移 及び 地域別割合



※単位 百万円
※ () 内 全体比率

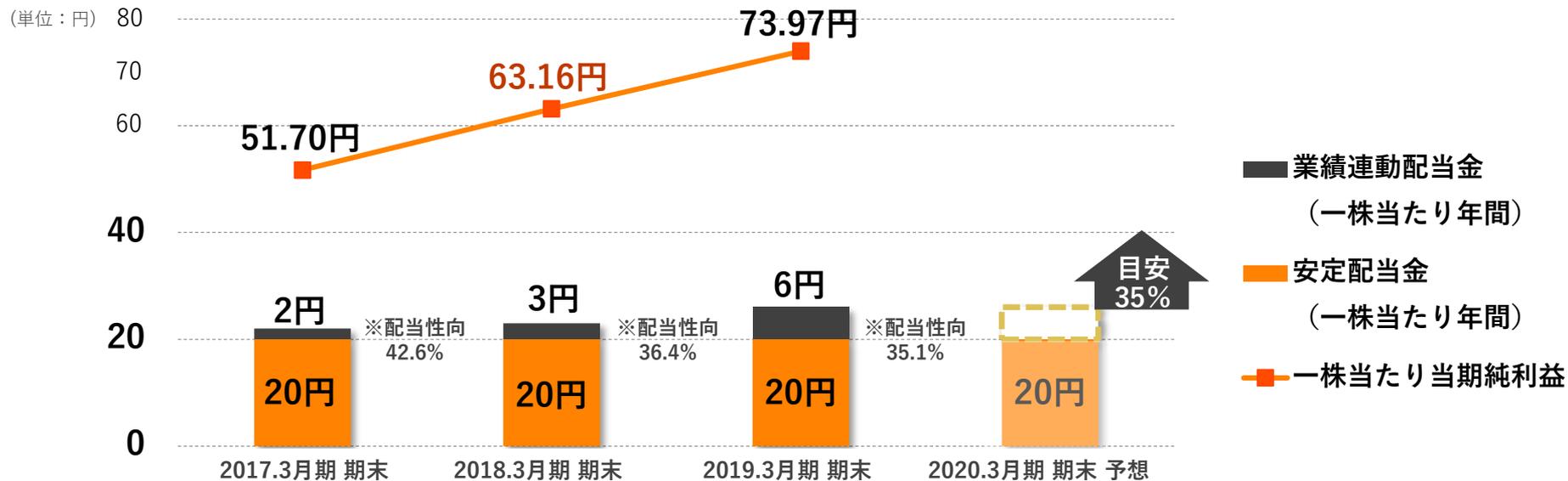
製品分野別 売上高の推移 3力年

(単位：百万円)



2020年3月期 配当予想

連結配当性向35%を目安として業績連動配当を実施



配当については、以下の事項を総合的に勘案して決定する方針

- 年間 20 円（中間配当 10 円、期末配当 10 円）の配当については、今後も維持。
- 最低額を20円/株とした業績連動配当の実施。
- 持続的な成長を可能とする内部留保とのバランスを勘案。

株価チャート



出典：Yahoo!ファイナンス

昨日の株価

1,229円

第2章 二つのキーワードで見るTOA

Innovation

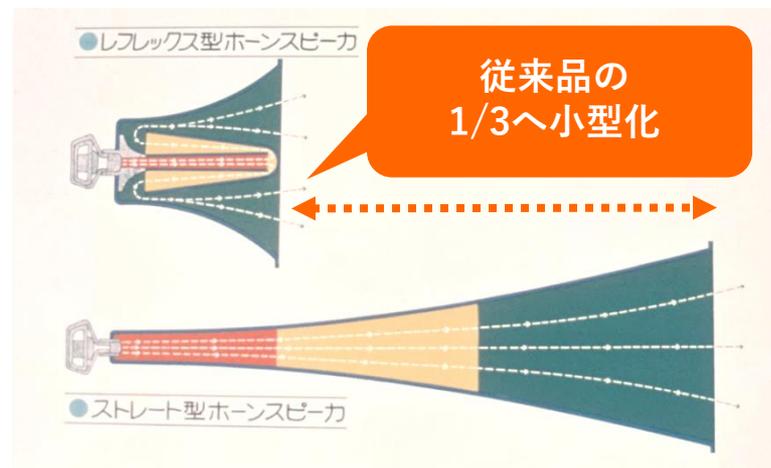
Sustainability

Innovation

挑戦と革新のストーリー



1947年 **日本初** 「レフレックス型ホーンスピーカー」 開発
「トーアのトランペット」 「トランペットのトーア」 の認識が定着



1949年 東亜特殊電気株式会社 設立

次々と世界初、日本初の商品を開発

最新技術を採用し、軽量かつコンパクト、
省電力、高性能で世の中を驚かせる。

1954年 電気メガホン開発 **世界初**

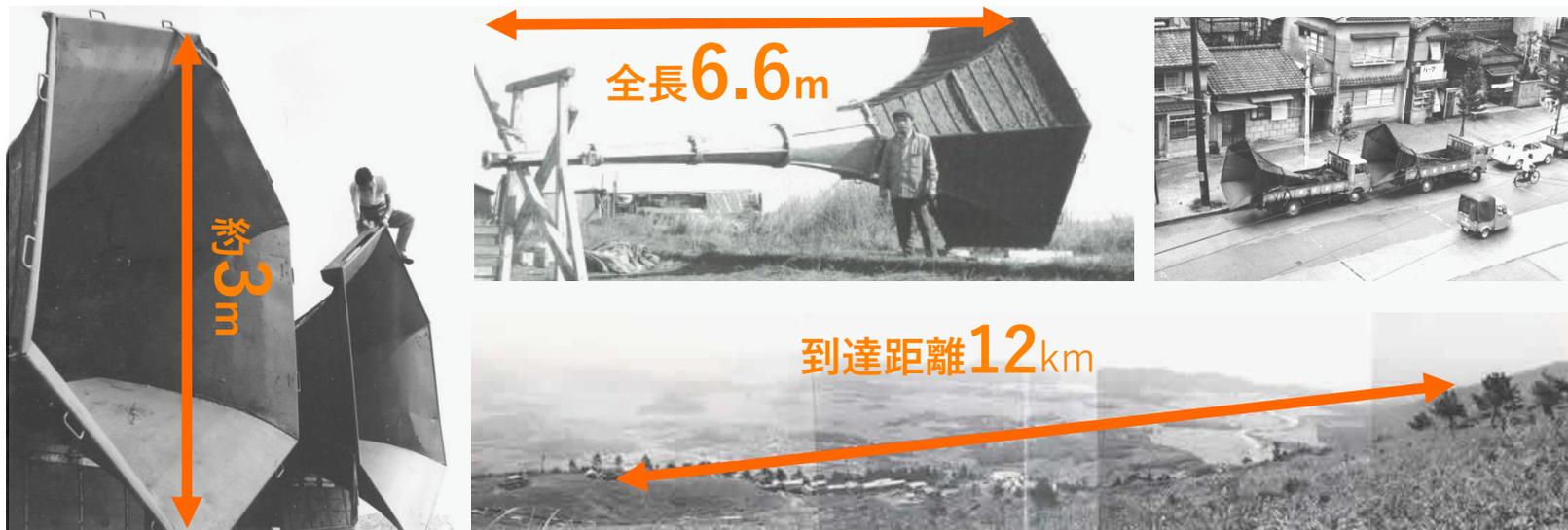
1957年 トランジスターメガホン商品化 **日本初**

1959年 トランジスター車載アンプ商品化 **日本初**

「日本の選挙演説のカタチを変える」



大規模拡声技術の基礎を確立した、超巨大PA通達テスト



自動案内放送システムの先駆け

交通市場に広く普及した「音声ファイル」

1975年 南海電鉄難波駅『自動案内放送システム』



最先端の圧縮技術を
片っ端からテスト



国内5つの国際空港に
放送設備を納入
国内空港市場のシェアは9割以上

大音量、連続使用に耐える高音質なスピーカーの開発

音を研究する取り組み

1978年 サウンドルーム 開設

1980年 音響センター 開設

1983年 サウンドポケット 発足



ディスコ・MAHARAJAの当社サウンドシステム

1990年

日本初 のSR(移動用音響)「Z-DRIVE」



カメラ設備の代名詞「CCTV」を浸透させる

「音ができるなら、映像もできるのではないか」

CCTV開発



当社初の映像機器

- 「AV調整卓」(1981)
デスク型放送設備用のカメラ



ソリッドステートカラーカメラ CC-1150

CCTVの誕生と基礎技術の確立

撮像管を採用した当社初の「CCTV」

- 監視カメラ(1983)
撮像管から「CCD」へ
- ダウンライト型CCDカメラ
「CC-1100」(1986)
- 独自のTTL方式でカラー化を実現
「CC-1150」(1987)

高性能化
高画質・ネットワーク

その役割は「監視カメラ」から「防犯」「減災・防災」へ

これからの世の中に、音と映像の新しい価値を創造

Pick up

音声明瞭化技術 都内地下鉄で実用化

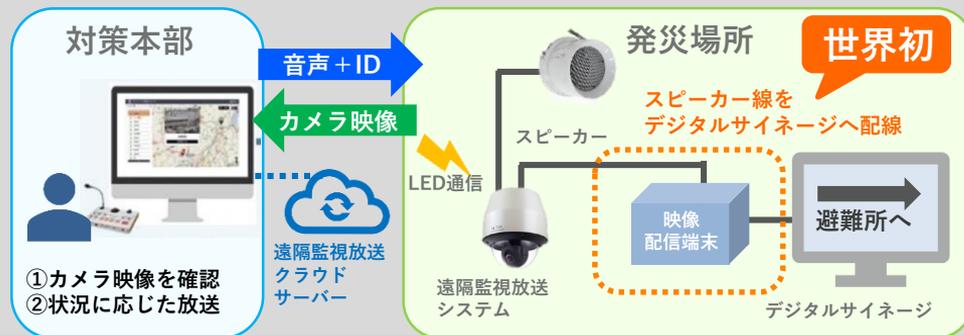


音声の周波数や音圧の違いが聞き取りやすさに影響を与えることふまえ、都営地下鉄 五反田駅にて実用化を試行。

“聞こえる、だけではなく”
“聞いて理解できる、”

Pick up

放送設備 + デジタルサイネージを連動させたシステム



世界初、新技術による緊急音声放送の視覚化・多言語化
大規模災害時に外国人観光客や障がい者の安全な避難を可能に！

Sustainability

いつまでも必要とされる企業へ

音声誘導で人命を守る「非常用放送設備」

開発の流れ

日本初
卓上型
非常用放送設備
TA-265S
(1969)



業界初
壁掛け型
非常用放送設備
FS-751 (1975)

ラック型
非常用放送設備
FS-971 (1997)



業界初
ラック型
緊急地震
放送対応
FS-2000
(2012)



業界初
壁掛け型
緊急地震
放送対応
FS-1000
(2014)



いつでもどこでも 安全・安心を。

タウンレコーダー 遠隔見守りサービス

見守り続ける「目」と、離れていても状況がわかる「情報伝達力」を実現しました。高解像度カメラ、通信機能などを一体化した「タウンレコーダー」と、情報をリアルタイムに送信する機能で、暮らしの安全・安心に貢献しています。



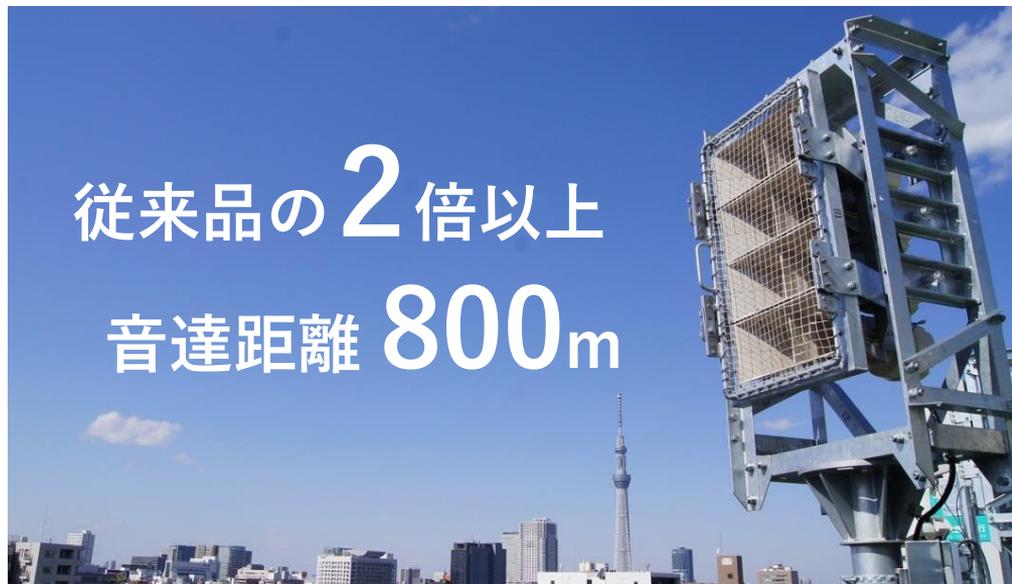
防災用高性能スピーカー「ホーンアレイスピーカー」発売



防災用スピーカー
(従来品)



東日本大震災の津波で倒壊した
防災無線屋外子局（仙台港）



従来品の2倍以上
音達距離 800m

従来品の2倍以上の距離に明瞭な音を届ける

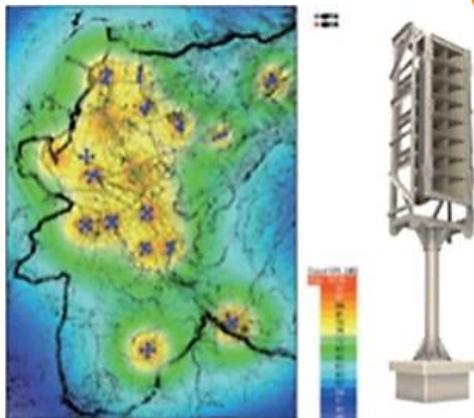
高台や庁舎屋上など、津波による倒壊の危険性が少ない場所から放送が可能



防災用高性能スピーカーで「警報音が聞こえない」課題を解決

緊急時の防災情報を確実に届ける

より現実に近い
音響シミュレーション



減災・防災
に貢献



実商品を使い
現地で実証実験

ノウハウを活かし、その場所に最適な音を実現

第3章 TOAが目指す姿

－中期経営基本計画－

Smiles for the Public

一人々が笑顔になれる社会をつくる

Public Safety

Public Communication

Public Space Design

音の
報^{しら}せる力

TOAのありたい姿

TOAグループの姿

世界に5つのTOA

TOA Global Network

中国・
東アジア
TOA



アメリカ
TOA



TOA



欧州・中東・
アフリカ
TOA



アジア・
パシフィック
TOA



Only 1

「音の報せる力」を核に
社会にとってかけがえのない存在へ

中計初年度での成果

大型施設に対応できる大規模システムの提案・納入

ネットワーク型放送システムが
海外の大型案件で採用される



ネットワーク接続による分散配置が可能でかつ柔軟な放送システム

- 欧州、中国などの大型案件で当社のシステムが採用されている
 - 世界5地域で展開し、更なるシェア拡大を目指す

映像センシング技術の活用 に注力

0.5



グラフ表示

映像センシング技術を活用して工場の事故・故障低減、省力化

白杖が動く様子を撮影
白杖を認識すると自動で音声案内放送を行う



〇〇があります

さらに精度を高めるため、
実証実験を重ねている
白杖利用者向け
音声誘導システム



防犯用途以外の課題解決に、新技術を搭載したカメラシステムを提案

- 工場などの設備の状態監視により、事故・故障低減、省力化・省人化に貢献
 - アナログ計器センシングを開発
- 白杖利用者に対して自動で音声情報を伝達
 - 映像技術を活用した音声誘導システムの実証実験

Only 1を目指し、技術を実用化

グローバル戦略

トランスナショナル戦略部の新設

世界のどこでも安心して利用できる製品・サービスを提供

- ・ これからも成長を牽引
地域に密着したマーケティング機能の強化と、
市場ニーズに応えた商品開発

- ・ 新設部署を中心に推進
グローバルな展開を図る企業に対して、
組織的な動きで、地域を超えて
顧客ごとの標準仕様品の開発

それぞれを掛け合わせ、
ユーザー活動を加速させる

MULTI-DOMESTIC



地域密着型ビジネス

TRANSNATIONAL



顧客ベースでの
グローバル展開



世界のスマートシティで究極の2wayコミュニケーションを実現



高度避難誘導システムで社会の安全を実現



技術開発や研究開発への積極的な投資



マネジメントセンター

